

<第39回 利益相反管理委員会(2024年4月5日書面開催)>

報告・審議テーマ	✓ 2024年度 SuMiHD 経営計画(コンプライアンス統括部、FD・CS 企画推進部)について
主な審議内容	✓ 2024年度コンプライアンス統括部および FD・CS 企画推進部経営計画におけるフィデューシャリー・デューティーの推進、利益相反管理の高度化等に係る取組事項について報告

報告・審議テーマ	✓ 利益相反管理委員会評価の実施結果について
主な審議内容	✓ 委員およびオブザーバー宛に実施した委員会評価の結果について報告
対応状況	✓ 信託業務のリスクコントロールに関する審議について、定量評価が低下していることから、「プロダクトガバナンス強化の要請等踏まえた信託商品の引受審査実効性向上に向けた審議の深堀」を検討している

<第40回 利益相反管理委員会(2024年6月27日開催)>

報告・審議テーマ	✓ 三井住友トラスト・グループのフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針等の改定について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信託銀行においては、信託業のみならず、併營業務なども含めてお客さま本位の業務運営に取り組んでいくべきであり、今後、信託型金融仲介などについても議論が必要と考える ✓ お客さまにふさわしい商品・サービスを選択・提供できるよう人材育成に注力されたい ✓ 「顧客本位の業務運営に関する原則」が改定される予定であり、同原則の改定を踏まえて、あらためて当グループの取組方針の改定を議論されたい
対応状況	✓ 意見を踏まえ、引き続きプロダクトガバナンス、利益相反管理、適合性原則への対応などに取り組む

報告・審議テーマ	✓ 個人事業のお客さま本位の業務運営の取組状況について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 商品について、担当自身がチェックして、確り理解し、実態に沿ったお客さま本位の情報提供が必要である ✓ お客さまへのアフターフォローは、定例的に行うだけでなく、都度適切なタイミングでフォローアップすることが重要である ✓ 学生向け金融教育の取り組みについて、目先の利益に捉われず、顧客本位の業務運営を徹底し、リテラシー向上が社会文化になるよう取り組みを継続されたい
対応状況	✓ 意見を踏まえ、お客さま本位の取組高度化を推進していく

報告・審議テーマ	✓ 対顧サービス品質管理の取組状況、検証結果について
----------	----------------------------

主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ お客さま向けサービス品質の向上において、利便性について改善余地があると思われる。分析を確り進めていただき、改善に努められたい ✓ ユニバーサルデザインについては、労力がかかっても、定形様式をお客さま目線でチェックし、シンプル化するなど見直すことが重要である ✓ IT化・デジタル化は、金融にとって必須の資源配分なので検討されたい
対応状況	✓ 意見を踏まえ、対顧サービス品質の向上に取り組む

報告・審議テーマ	✓ 2023年度下期 利益相反管理・顧客保護等管理の状況について
主な審議内容	✓ 利益相反管理は非常に難しい分野であるため、eラーニングを含めた研修に取り組んでほしい
対応状況	✓ 意見を踏まえ、継続的に研修を実施していく

報告・審議テーマ	✓ 2024事務年度 利益相反管理委員会の活動方針について
主な審議内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製販一体の商品提供が視野に入ってくるなか、一つ一つは正しいルールに則って対応していても、全体を見た時に社会的に適切なのかといったコンダクトリスクを考えることが重要である ✓ 認知症基本法の施行なども踏まえ、信託において、資産管理・住まいについての困りごとをどのように対応していくかというテーマについても、中長期的に検討する余地がある
対応状況	✓ プロダクトガバナンス態勢、販売管理態勢の整備・高度化や、認知症基本法施行を踏まえた高齢者金融包摂にかかる対応などについて、2024事務年度の委員会活動テーマに取り上げることを検討する

以上